

このたびは JIMBO の感熱センサスイッチをお買い上げいただきありがとうございます。感熱センサスイッチを正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

人の動きを検知して照明等を「ON」にし、人の動きがなくなると、一定時間後「OFF」になります。

各部の名称・使用方法

※センサを2カ所でご使用の場合には、それぞれのセンサを調整してください。

扉を開いて調整してください。

動作保持時間切替ツマミ
ONしている時間を約10・30秒・1・3・5・10・15・20・30分のいずれかの時間に設定できます。
ONしている間に再度検知するとその時点より再び設定時間ONし続けます。

明るさセンサ切替スイッチ
検知動作する周囲の明るさを設定できます。
「暗」→約30ルクス以下
「明」→約100ルクス以下
「切」→明るさに無関係
ONしている間は、周囲の明るさにかかわらず再検知します。

※スイッチ・ツマミは「カチッ」と止まる位置で合わせてください。

動作保持時間切替ツマミ

設定時間

通常 ON OFF

再検知 ON OFF

扉

レンズ（検知面）

人感センサおよび明るさセンサ

シャッター
左右それぞれのシャッター位置を調整して、水平方向の検知エリアを制限できます。

約70°
約20°
約70°
調整不可

動作モードスイッチ

	連続	常時 ON
	自動	センサの自動検知により ON・OFF
	切	常時 OFF

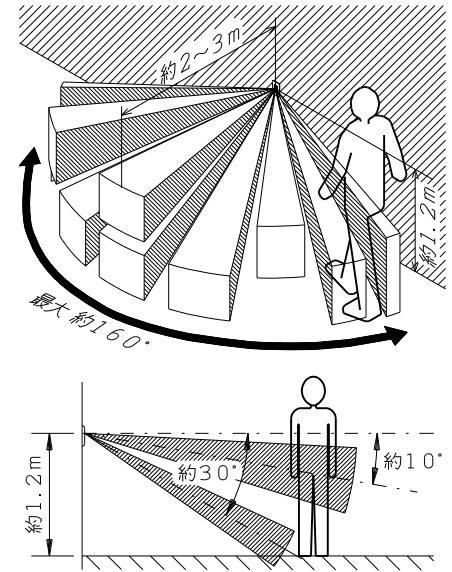
※図はブラケット付です。

取付場所・取扱上のご注意

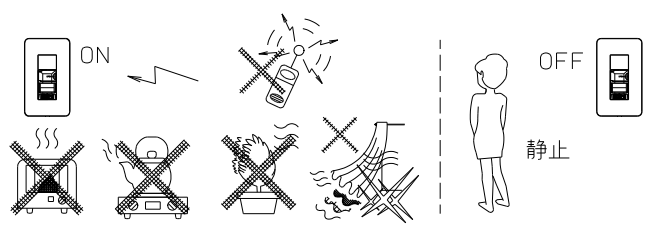
- ⚠ 照明器具または換気扇をお手入れするときには、必ず動作モードスイッチを「切」にしてください。感電やけがの原因となります。センサを2カ所でご使用の場合には、2カ所とも「切」にしてください。
- ⚠ センサには、水をかけないでください。水のかかる場所・多湿の場所には取り付けないでください。感電や火災の原因となります。
- 注意** 蛍光灯は、頻りに点灯/消灯を繰り返すとランプ寿命が短くなります。
(「グロー式・ネオン管式・電球形インバータ式・コンパクト形インバータ式」)
蛍光灯は、ランプ寿命が極端に短くなるものがあります。
※ただし高頻度点滅可能な蛍光灯は除く
頻りに点灯/消灯するところでは、白熱灯をご使用ください。
さらに、蛍光灯ご使用の際は点灯/消灯の頻度が少なくなるように、明るさセンサ切替スイッチを「暗」、動作保持時間切替ツマミを長い(15分以上)に設定してください。
- 人が動いたときの温度変化を検知し動作するので、温度変化のある次のような場所では動作する場合があります。取り付けないでください。温度変化のあるものを検知エリア内に置かないでください。
 - エアコン等冷暖房器具・コンロ等調理器具・加湿器の近く、および冷風・温風・湯気・蒸気あたる場所。
 - 白熱灯や照明器具が近くにある場所。(器具から1m以内の場所)
 - 反射による間接光の当たる場所。(反射の強い床のある場所)
 - 揺れるものや動くものが置かれている場所。(揺れるカーテン・木の葉等ある場所)
 - 直射日光や、ヘッドライトの光が当たる場所。
- 強力な無線等の電気雑音により、動作する場合があります。携帯電話等はできるだけ離してください。
- 明るさセンサ切替スイッチを「暗」あるいは「明」に設定している場合、手あるいは人等によって検知面に影ができると、暗くなったことと同様になるため、周囲が明るくても動作する場合があります。
- 夏場など周囲温度が体温に近づいたときには、検知しにくくなります。
- 人が静止した状態だと、センサで検知できません。照明が消えてしまう場合があります。
- 遮蔽物(透明ガラスも含む)があると、隠れた人は検知できません。
- 人が検知面に向かってまっすぐ近づいた場合、検知しにくくなります。設置は人が検知エリアを横切るようにしてください。(高いところに取付けると子供を検知できない場合があります。)
- レンズ(検知面)に汚れや傷がつきますと検知能力が低下します。 外観、検知面が汚れた場合は、やわらかい布で傷をつけないようにふき取ってください。化学ぞうきん、シンナー、ベンジン、洗剤、殺虫剤等を使わないでください。
- 停電等がおき復電された場合には、センサの初期動作として、約40秒間不安定動作します。(検知にかかわらず、ONあるいはOFF)その後、検知可能な正常状態になります。(ONした場合には、約40秒間+設定した動作時間ONします。)
- 使用中、器具表面が暖かくなることがありますが、異常ではありません。
- 内部に電子部品を使用していますので、落としたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

検知エリア

3℃以上の温度変化を検知して動作します。
使用周囲温度範囲0℃～35℃



- 玄関、トイレなど姿勢が低くなる場所に設置する場合は子供の検知動作ができる高さ1mの位置に取り付けてください。

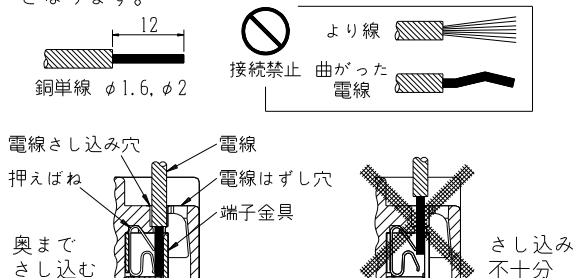


警告

- 安全のため電熱器具への接続はしないでください。
- 負荷容量を越えて使用しないでください。器具の温度が上昇して、焼損や火災の原因となります。

警告 結線方法

- 電線はφ1.6、φ2の銅単線をご使用ください。
- 電線は器具裏面のストリップゲージに合わせて電線を皮むきし、電線に曲がりがあれば直してください。曲がった電線は接続しないでください。発熱して焼損や火災の原因となります。
- 結線をするときには、皮をむいた心線が見えなくなるまで十分にさし込んでください。さし込みが不十分な場合、発熱して焼損や火災の原因となります。



施工上のご注意

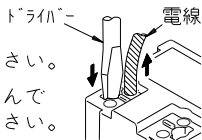
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行なってください。誤った配線工事は製品の故障・感電や火災の原因となります。
- AC100V以外では使用しないでください。製品の故障・焼損や火災の原因となります。
- 誤結線や負荷側を短絡すると、過電流により内部部品が破損し使用不能となります。
- メガテストをする場合は、器具を電路より外して行ってください。※電線（電路）と大地間を測定する場合も、器具を電路より外して行ってください。
- 電源投入後、センサの初期動作として、約40秒間不安定動作します。（検知にかかわらず、ONあるいはOFFします）その後、検知可能な正常状態になります。（ONした場合には、約40秒間+設定した動作時間ONします。）
- センサの電源線にはスイッチを設けしないでください。切・入すると、上述同様に初期不安定動作します。

JEC-BN-PAS-3（2線式）のご注意

- センサの動作を確保するため、OFF時には約0.2mA（約0.02W）の待機電流を必要とします。（2カ所結線の場合には、2台分の待機電流）照明器具によっては、OFF時に漏れ電流を極端に流せないものがあります（低力率蛍光灯等）。その場合には照明器具と並列に外付けコンデンサを接続していただくか、あるいは照明器具の容量を大きくしてください。
- 漏れ電流をあまり流せない照明器具の場合、電源投入時の初期動作が長くなる場合があります。その場合には、動作モードスイッチを「切」の状態にしておくことで初期動作が早く終了します。

電線のはずし方

- 電源回路を切ってから実施してください。
- ドライバーを電線はさし穴に差し込んで押しながら、電線を引き抜いてください。



仕様

製品番号	JEC-BN-PAS-1	JEC-BN-PAS-3
定格	3A-100VAC 50/60Hz	2A-100VAC 50/60Hz
OFF時の消費電力	約0.2W（ON時の消費電力：約0.8W）	約0.02W
配線方式	4線式	2線式
照度機能	明るさセンサ付き	
動作照度	暗：約30ルクス 明：約100ルクス 切：明るさ無関係	3段切替え
動作保持時間	約10, 30秒, 1, 3, 5, 10, 15, 20, 30分	9段切替え
出力方式	投入・遮断時：トライアック制御出力 通電時：有電圧リレー接点出力	トライアック制御出力
配線図		

適合負荷 [負荷容量 および 接続灯数]

白熱灯	2~300W	1灯あたり100W以下
換気扇	2~150W	
		10W 20W 30W 40W 110W
蛍光灯	グロー式 低力率 2~160W	13 8 4 3 -
	電子スタート式 高力率 2~210W	- 6 7 5 -
	レット式 高力率 2~220W	- 10 - 5 2
		10W ~20W~ 30W~ 40~55W ~110W
インバータ蛍光灯	2~110W	10 5 3 2 1
		8~15W ~25W
電球形蛍光灯	2~150W	7 6

適合負荷 [負荷容量 および 接続灯数]

白熱灯	10~200W	1灯あたり100W以下
換気扇	不可	
		10W 20W 30W 40W 110W
蛍光灯	グロー式 低力率 10~100W	8 5 3 2 -
	電子スタート式 高力率 10~120W	- 6 4 3 -
	レット式 高力率 20~160W	- 6 - 4 1
		10W ~20W~ 30W~ 40~55W ~110W
インバータ蛍光灯	10~110W	9 5 3 2 1
		8~15W ~25W
電球形蛍光灯	8~100W	6 4

- グロー式及び電子スタート式の高力率蛍光灯（GH・EH）・インバータ式高力率蛍光灯をご使用の場合、照明器具やスイッチからわずかにうなり音が聞こえることがあります。異常ではありません。低力率形をおすすめします。事前にご確認の上、ご使用ください。
- 調光器及びダウントランスとの組合せはできません。

- 白熱灯は1灯あたり100W以下でご使用ください。（電球の球切れ時、大電流が流れ内部部品が破損する原因となります。）
- HIDランプ（高輝度放電ランプ）には使用できません。
- 電子回路内蔵の特殊照明器具には使用できません。（遅延タイマ・調光機能・壁スイッチの短時間ON/OFF操作による点灯状態切替機能・リモコン機能等内蔵の照明器具）
- 上記適合負荷の容量および接続灯数はおよその目安です。